



## 自分ひとりくらい・・・ ～2/17 校長講話～

3学期も丁度、折り返しを過ぎました。日の光が少しずつ強くなり春の訪れを感じさせます。

「応援したいから応援に行かない」これはお正月に行われた箱根駅伝の応援自粛お願いのキャッチコピーです。全国の感染者が急増し、首都圏等での非常事態宣言目前の状況でした。TVでは何度もこのように「沿道での応援はお控え下さい」と示され、選手の家族やチームメート、関係者の方をはじめ多くの方はTVで応援する、その一方で沿道の観客の姿が映されその数の多さも話題となっていました。皆さんにはどのように映ったでしょうか？「自分ひとりくらいなら、出ても大丈夫！」という気持ちだったのかもしれませんが。沿道に出ていた人たちが悪い！ということをご皆さんに伝えたいのではありませんが、あまりにも対照的で、この「自分ひとりくらいいいや…」ということを深く考えさせられました。優勝したのは駒澤大学。チームメートたちは大学の寮で優勝を見守り、ゴールでアンカーの選手を迎えたのはキャプテンただ一人だった。胴上げもありませんでした。

「自分ひとりくらい…」これは何も箱根駅伝の応援の話に限りません。このことを戒める、似たような民話は、日本にも外国にも残っていますので今日は「村の祭り酒」というお話しを紹介いたします。

ある村では、毎年実りの秋を迎えると盛大に収穫祭を祝うのが伝統でした。村人は大人も子供もこの日を心待ちにしています。大きな樽酒を一齐に割ってみんなで盛大な乾杯をして祭りを始めるのがなわらしでした。今年も、祭りの日が迫ってきました。しかし、今年の祭りには深刻な問題が起こっていました。なんとあの盛大に行う乾杯の「儀式」に使う酒樽。これを買うお金がないというのです。農作物の不作がその理由でした。伝統の鏡割りをどうしたものか。村人たちは悩みました。するとある人が「みんなの家にあるお酒を一人一杯分ずつ持ち寄ればいい！」そうです。そうすれば今年も村の伝統行事を支えることができます。祭りの日がやってきました。みんなで酒樽のふたを「せーの！」と割り、「カンパイ！」と言って飲み始めました。みなが一瞬、飲み終わった後です。会場は静まり返りました。そして皆が怪訝な様子で顔を見合っています。「あれ？味が・・・？」そしてある男が叫びます。「これは酒じゃなくて、水じゃないか！」

この話はここで終わります。

どうしてお酒が水になったのでしょうか？ この民話から私たちは何を学ぶのでしょうか？

「自分ひとりくらいいいや…」 この気持ちは、私たちの日々の生活、身近なところにもよくある話です。「自分ひとりくらい、どうってことないさ」皆さんには心あたりはありませんか？ 私たちは油断すると、気づかぬうちについこの心に陥ってしまいがちです。

南宮中には、みんなで大切に取り組んでいる三本柱や生徒会の活動があります。もし「自分ひとりくらいいいや」という気持ちでいたとしたら、今あるこの素敵な南宮中の三本柱も、たちまち「水のようなお酒」になってしまうことでしょうか。校長先生は、皆さんの本当に気持ちのよい挨拶やこの頃聞こえてくる美しい歌声にいつも元気をもらい、無心に打ち込む皆さんの清掃の姿から逆に自分が励まされている思いがいたします。

最後に昨日の放課後、たまたま目にした光景を紹介します。夕方5時近く、正面玄関に一人の先生が立っていました。お客さんのお見送りをするためのようでした。その先生、待っている間にふっと腰をかがめたかと思うと、そこに敷いてあったむしろの向きを直し、押さえていたレンガのブロックをきちんと置き直している。何カ所も。校門を出るお客さんの車に深々と頭を下げたかと思うと玄関に入ってきて、たまたまそこに置いてあった、誰の靴とも分からぬ靴をひょいとそろえて何事もなかったかのように廊下に入ってくる。この間、時間にすればほんの1分にも満たない出来事です。やってもやらなくてもいい、小さな事かもしれませんが、人としての美しい心に触れて、心洗われた思いがして、その思いは今でもほんのりと私の心に灯っています。



先ほどの民話でいえば、みんなで飲み味わうお酒は本当の意味でより美味しく、より楽しいお祭りになるのではないか、そんな気がしました。

## **授業参観、学年・学級PTAありがとうございました。(2月18日)**

足下の悪い中、今年度、最初で最後の授業参観（1，2学年）にご来校いただきありがとうございました。昇降口で検温や1～3校時に分散しての参観、学年・学級PTAやPTA評議員会など、保護者の皆さまにはご理解とご協力をいただき、ありがとうございました。

## **GIGAスクールが始まります！～ 一人一台のタブレット端末配備 間近 ～**

校内の教室、特別教室を中心に Wifi 環境が整えられ、2月17日に生徒用のタブレット（ipad）が学校に届きました。3月には教室の充電保管庫に配備し、徐々に学習を始める予定です。先生方も研修をして、4月から本格的に活用できるように、準備を進めています。

タブレットをどのように活用していくかが今後の課題となりますが、「文房具の一つ」として、有効に活用できるよう取り組んでいきたいと考えています。現時点では、家庭へ持ち帰らず、学校での使用となります。

## **非違行為防止研修**

本校では職員会議の時間等を使って、非違行為防止研修を年間通して実施してきました。内容としては、わいせつ行為に係る検証報告書の読み合わせや校内ルールの再確認、体罰防止にむけて資料に学ぶ研修、スクールサポーターを講師に迎えて飲酒運転根絶やSNSトラブルに関する講演会などを行ってきました。

今後も、非違行為根絶にむけて取り組んでいきます。

### **『いじめ・人権・セクハラ・体罰』 相談窓口は、校長室・保健室です。**

校長室と保健室を相談窓口として設置しています。何か困ったことがあったら相談できる場所です。一人で悩まずに相談してみましょ。保護者の方々もご利用ください。